



(大阪労農記者クラブ扱い)

大阪労働局発表

平成25年7月1日

担
当

大阪労働局労働基準部健康課
電 話 06(6949)6500

定期健康診断の結果について

— 有所見率の減少傾向を維持 —

大阪労働局（局長 中沖 剛）は、平成24年の定期健康診断の結果をとりまとめた。

労働者数50人以上の事業場については、定期健康診断を実施し、その結果を労働基準監督署へ報告しなければなりません。

今般、平成24年の定期健康診断結果報告があった大阪府内の事業場（8,572事業場）の受診労働者（1,018,997人）について、その結果を取りまとめました。

ポイント

- 定期健康診断の有所見率が、昨年と同様51.4%と減少傾向を維持し、国の第11次労働災害防止計画の目標を達成した。
- 脳・心臓疾患関係の検査項目の1つである血中脂質検査（コレステロールに関する検査）の有所見率が依然として最も高いものの、平成21年をピークに減少傾向にある。

定期健康診断項目のうち、血圧検査、血中脂質検査、血糖検査、肥満度の検査などで所見があると、一般に脳・心臓疾患を発症する可能性が高いといわれています。

有所見率改善の取り組みは、国の第11次労働災害防止計画の目標である、「定期健康診断における有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせること」に基づき、大阪労働局として取り組んだものです。

平成24年の定期健康診断の有所見率は、平成23年と同数の51.4%となり、目標を達成することが出来ました。

しかしながら、半数を超える方が依然として所見を有している状況にあり、今後も有所見率改善のための取組を推進することとしています。

定期健康診断の有所見率の改善のためには、産業保健スタッフが各人の健康診断結果を精査し、それぞれの者に応じた栄養指導、運動指導等を実施することが必要です。

産業保健スタッフを配置することができない小規模事業場については、地域産業保健センターを気軽に活用していただくことを呼びかけています。

現在、大阪労働局では事業場で実施されている「有所見率改善のための好事例集」を作成し、ホームページで公表しています。好事例を参考に積極的な取組をお願いします。

平成 24 年 定期健康診断結果について

表 1 定期健康診断の実施状況の推移（大阪）（規模 50 人以上の事業場）

年	健診実施事業場数		受診者数	有所見者数	有所見率	
					大阪	全国
平成 15 年	7,438	(1,342)	984,340	446,358	45.4 %	47.3 %
平成 16 年	7,542	(1,427)	992,699	455,873	45.9 %	47.6 %
平成 17 年	7,757	(1,490)	996,181	470,725	47.3 %	48.4 %
平成 18 年	7,786	(1,542)	1,007,069	483,130	48.0 %	49.1 %
平成 19 年	8,014	(1,639)	1,032,304	506,637	49.1 %	49.9 %
平成 20 年	8,659	(1,896)	1,125,211	566,835	50.4 %	51.3 %
平成 21 年	7,902	(1,671)	1,010,346	521,108	51.6 %	52.3 %
平成 22 年	9,162	(2,217)	1,170,063	605,732	51.8 %	52.5 %
平成 23 年	8,576	(2,043)	1,060,165	544,569	51.4 %	52.7 %
平成 24 年	8,572	(2,041)	1,018,997	523,580	51.4 %	52.7 %

（備考） 1.健診実施事業場数は延事業場数 2.()は年 2 回以上実施した事業場数で内数

表 2 定期健康診断の項目別有所見率の推移（大阪）

項目 年	聴力 (100 Hz)	聴力 (400 Hz)	聴力 (その他)	胸部 X 線検査	喀痰検査	血圧検査	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	尿検査 (糖)	尿検査 (蛋白)	心電図検査	有所見率 (全項目)
	15 年	3.8%	7.7%	0.7%	3.6%	1.7%	11.5%	5.6%	14.6%	28.7%	8.8%	3.0%	3.6%	8.6%
16 年	3.8%	7.6%	0.7%	3.7%	1.8%	11.7%	5.6%	14.4%	28.0%	8.7%	3.0%	3.9%	8.7%	45.9%
17 年	3.8%	7.6%	0.6%	3.8%	0.6%	12.2%	5.9%	14.7%	29.4%	8.7%	3.0%	3.9%	8.9%	47.3%
18 年	3.6%	7.5%	0.6%	4.1%	1.0%	12.1%	6.1%	14.3%	30.3%	8.9%	3.0%	4.0%	9.1%	48.0%
19 年	3.6%	7.6%	0.7%	4.3%	1.9%	12.4%	6.2%	14.3%	31.3%	8.8%	2.8%	4.1%	9.1%	49.1%
20 年	3.6%	7.6%	0.6%	4.5%	0.9%	13.4%	6.7%	14.2%	31.7%	9.0%	2.6%	4.4%	9.1%	50.4%
21 年	3.8%	7.8%	0.6%	4.5%	2.0%	14.3%	7.0%	14.3%	32.9%	9.3%	2.6%	4.4%	9.5%	51.6%
22 年	3.6%	7.5%	0.6%	4.7%	0.9%	14.3%	7.0%	14.6%	32.6%	9.4%	2.6%	4.8%	9.8%	51.8%
23 年	3.6%	7.4%	0.7%	4.6%	1.7%	14.2%	6.6%	14.2%	31.7%	9.7%	2.8%	4.5%	9.5%	51.4%
24 年	3.5%	7.4%	0.6%	4.3%	1.5%	13.9%	6.4%	13.8%	31.8%	9.5%	2.6%	4.5%	9.2%	51.4%

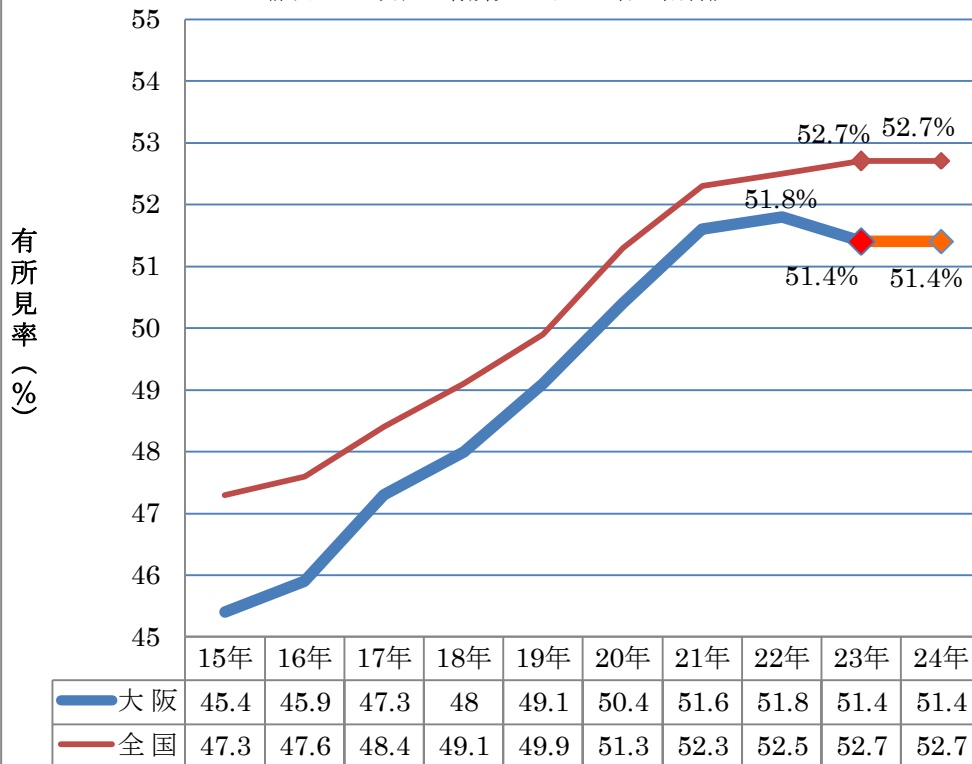
（備考）太枠は、脳心臓疾患に関連のある検査項目

（規模 50 人以上の事業場）

図1

定期健康診断 有所見率の推移

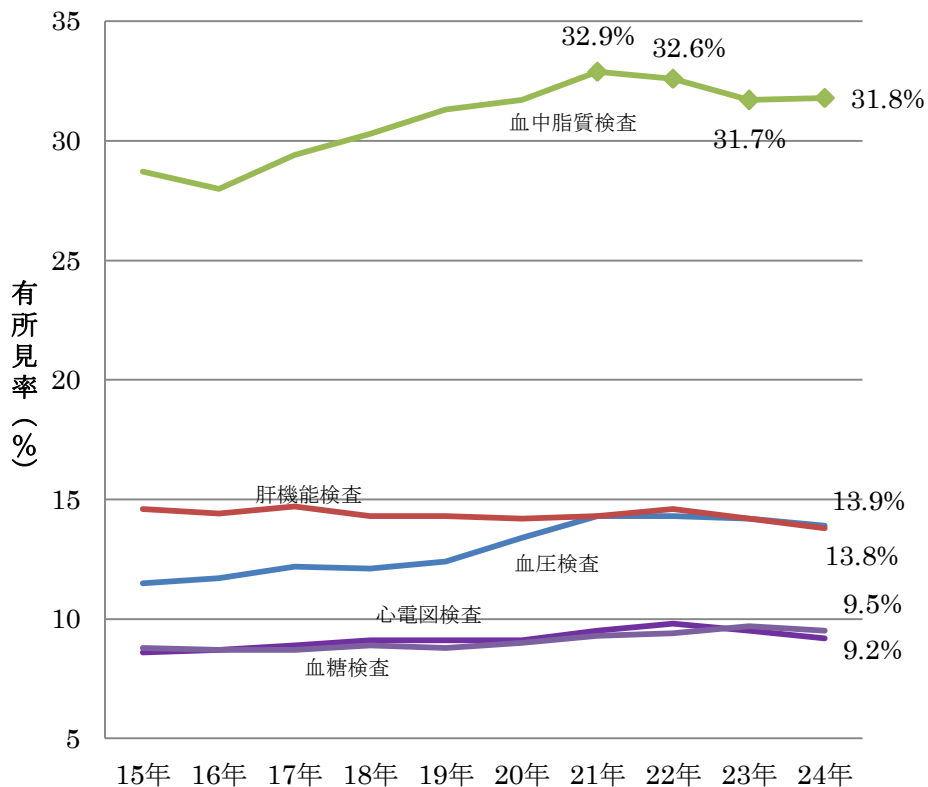
《何らかの項目が有所見であった者の割合》



大阪では平成22年の51.8%をピークに平成23年、初めて減少に転じ、平成24年もこれを維持、増加傾向に歯止めがかかった。全国では平成23年52.7%、平成24年52.7%と横ばいの状況。

図2

健診項目別 有所見率の推移 (大阪)



血中脂質検査(コレステロールに関する検査)の有所見率は依然として高いものの、平成21年の32.9%をピークに減少傾向にあり、平成24年はほぼ横ばいであった。